

幼児教育学科

科目名: 保育実習指導 I-③			担当教員 氏名: 岡野、藤井、石津、山本、小川、宮越		
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
1	2年次 前期	専門科目	演習	必修	保育士資格指定科目(必修)
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:					
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード
保育実習は、『事前学習』『実習』『事後学習』という流れの中で行われる。2年次の保育実習指導 I-③では、保育実習 I-②に向けて福祉施設の実習の意義、実習計画の立て方を学び深めていく。また、保育実習 I-①での反省を踏まえ、実習に対する心構えや実習計画の立て方等の再確認を行う。事後学習として、実習報告書の作成を通して、実習の成果をまとめ、各自の課題を整理していく。					・保育実習の意義 ・実習計画 ・実習報告書
授業における学修の到達目標					
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (福祉マトリックスで示される番号)		1. 4. 6. 9	
A 知識・理解力	福祉施設実習の意義や方法を理解する。				
E 自己管理能力	福祉施設実習に必要な手続きを行う。				
D 問題解決力	福祉施設実習の計画を立てる。				
E 自己管理能力	福祉施設報告書を作成し、各自の課題を整理する。				
G 倫理観	福祉施設利用者の内面や利用理由等を理解し、個人情報の取り扱いについて学ぶ。				
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする					
テスト:	%	レポート:	%	発表:	%
				実技試験:	%
					その他: 100 %
特記事項:					
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク					
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期:					
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法:					
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)		
			学習内容	学習に必要な時間(分)	
①福祉施設実習について 目的・特徴について			【事後】①の復習	60	
②福祉施設の目的、入所の理由などの特徴について			【事後】②の復習	120	
③実習先施設について			【事後】実習先について情報収集	120	
④実習種別について調べ学習			【事後】調べ学習	120	
⑤福祉施設で働く先輩に学ぶ			【事後】感想レポート作成	120	
⑥事前訪問に向けて 実習課題について(レポート作成)			【事後】レポート制作	120	
⑦事前訪問振り返り			【事前】事前訪問の記録記入	120	
⑧介護技術実習(支援方法や支援時の留意点を学ぶ)			【事後】介護技術実習からの学びレポート	120	
⑨利用者の内面の理解・基本的な関わり方			【事後】利用者を想定した自身の取り組みについて	120	
⑩日誌・指導案指導					
⑪実習計画を立てる					
⑫福祉施設実習の振り返り①(グループごとのディスカッション)			【事後】ディスカッションからの学びの記録	120	
⑬福祉施設実習の振り返り②(発表準備)			【事後】実習先へのお礼状の記入	120	
⑭福祉施設実習の振り返り③(発表)			【事前】発表準備 【事後】発表から学んだことを記入	120	
⑮報告書作成			報告書の完成	120	
使用テキスト:				その他参考文献など: 松本峰雄(監修)『より深く理解できる施設実習』<萌文書院>	
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 本科目の単位を履修するためには、全ての授業に出席し課題に取り組むと共に、保育実習 I-②を履修する必要があります。また、実習を行うにあたって実際に必要なことを学ぶ重要な授業であり、積極的な取り組みが求められます。上記時間外においても、実習内容等に関して予習・復習・準備などに積極的に取り組んで下さい。その他必要に応じて追加授業を行う場合があります。本科目の履修状況によっては、保育実習 I-②の履修を認めないことがあります。					